

## お客様本位の業務運営に関する取組方針

わたしたちJ Aながのは、経営理念である【3つのC】を大切にし、【3つのC】に果敢に取り組んでおります。

- |        |              |                       |
|--------|--------------|-----------------------|
| ■挑 戦   | (CHALLENGE)  | 新たな取り組みに挑戦します。        |
| ■組 合 員 | (CUSTOMER)   | お客様の気持ちに立って仕事に取り組めます。 |
| ■繋 が り | (CONNECTION) | 組合員・地域との繋がり強化に取り組めます。 |

当組合では、この理念のもと、2017年3月に金融庁より公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択するとともに、お客様本位の業務運営の取り組みについては、地域の農業・毎日の暮らしへの貢献を通じて組合員、利用者の皆様に選ばれ、資産形成・資産運用分野においても、その実践をさらに徹底することにより一層組合員・利用者に信頼されるJ Aバンクを目指してまいります。

今後、本方針に基づく取組みの状況を定期的にホームページ等で公表するとともに、よりお客様本位の業務運営を実現するため本方針を必要に応じて見直してまいります。

### 1. お客様への最適な商品提供

お客様に提供する金融商品は、特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢も踏まえたうえで、主に以下の基準をもとにお客様のニーズにお応えできる商品を選定しています。

- ①長期投資：将来の備えに向けて、「長期投資」を前提とした投資信託であること。（いわゆるテーマ型ファンドでないこと）
- ②手数料：良心的な水準であること。
- ③運用実績：過去の運用実績が相対的に良好であること。
- ④将来性：これから将来に向けて資産を築いていく資産形成層に向けては過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと。
- ⑤運用体制：外部機関の評価を得ています。

なお当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。

【原則2本文および(注)、原則3(注)、原則6本文および(注2、3)】

### 2. お客様本位のご提案と情報提供

- (1) お客様のご意向、金融知識・取引経験・資産状況や取引目的等を十分に把握したうえでご提供する金融サービスに応じた適切かつ分かりやすい情報提供を行い、お客様にふさわしい商品をご提案いたします。

【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

- (2) 金融知識・取引経験の浅いお客様やご高齢のお客様へは、より丁寧なご説明を行います。特にご高齢のお客様に対しては、ご家族等も含めてご理解いただけるようご説明いたします。

【原則4、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

- (3) お客様にご負担いただく手数料について、お客様の投資判断に資するように、セレクトファンドマップや販売用資料及び目論見書を用い丁寧かつ分かりやすい説明に努めます。

【原則4、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

### 3. 利益相反の適切な管理

お客様への商品選定や情報提供にあたり、お客様の利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき管理統括部署による月次と年次で適切に管理します。

【原則3本文および(注)】

### 4. お客様本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

お客様本位の業務運営を実現するため、高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成するべく、職員に必要な資格取得をさせます。また、継続的に知識習得するため職員研修の充実に努めます。

【原則2本文および(注)、原則6(注5)、原則7本文および(注)】

- (※) 上記の原則および注番号は、金融庁が公表している「顧客本位の業務運営に関する原則」（2021年1月改訂）との対応を示しています。

以上

制 定 平成30年 2月26日  
改 正 令和 4年12月28日